小学校(中学年)における実践④(10 月)

「クリスマスツリー」(構成的グループエンカウンター)

○　本時のねらい

力を合わせると成功するという体験をすることで、仲間への信頼感や団結力を深める。

○　展開(45 分)

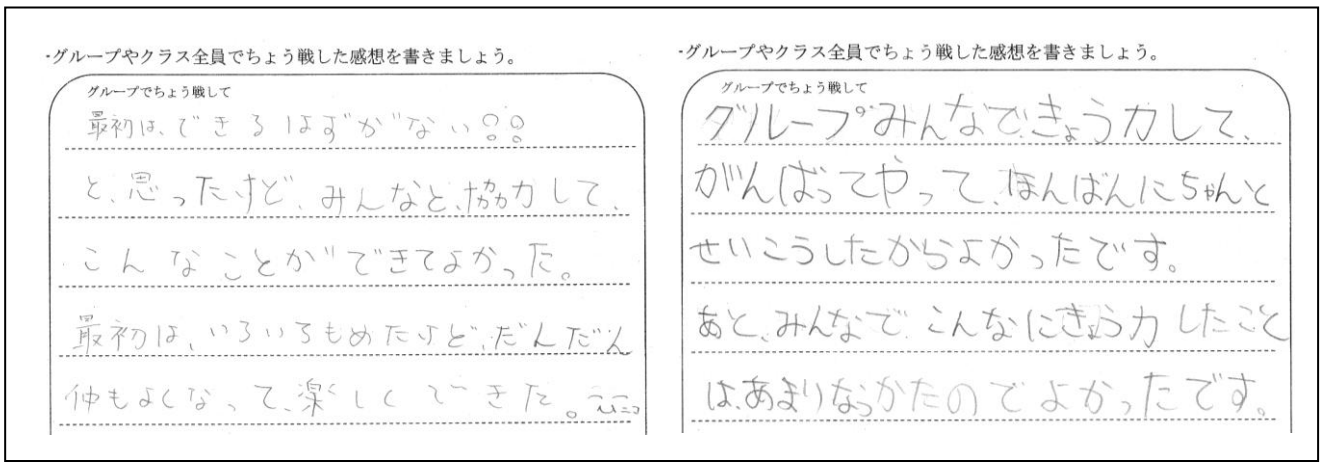
学　習　活　動	教師の働き掛け	準備物
1　ウォーミングアップをする。 **「バースデーチェーン」** 一言もしゃべらないで、誕生日順に並び、１つの大きな輪を作る。 	・全員で１つの輪をつくることで、全員が協力してできたことをフィードバックする。 ・誕生日順に５～６人のグループをつくり、次の活動につなげる。	
2　活動の内容や進め方を知る。 **「クリスマスツリー」** グループ全員で跳び箱の１段目に 30 秒間乗っておく。 **＜ルール＞** ・１人ずつ乗る。 ・片足が空中にあってもよい。 ・途中で落ちたら、次回まで待っておく。	・練習を５分間行い、本番は、全グループ同時に行うことを伝える。	跳び箱(１段目のみ) マット
(1)　練習をする。 片足で乗ったら？ みんな、できるだけくっつこう！	・練習が進まないグループには、全員が乗ることができるように、乗る順番や体の使い方をアドバイスする。 ・ルールや安全面を確認する。	

《参考文献》
・ 國分　康孝監修　『エンカウンターで学級が変わる　小学校編』　1996 年　図書文化社
pp. 146-147

○　振り返りシートより

【集団について】

・協力ができたし、みんなで工夫したからうれしかった。本番の時にできて、協力してよかったなあと思った。
・久しぶりにみんなで固まったりして楽しかった。
・今まで男女固まることがなくて、男女別で固まっていたから、貴重な体験ができて嬉しかった。
・みんなでできるかなと思ったけど、１つのマットに乗れたのでよかった。
・全員で力を合わせてやるとできて、自分でもすごいと思った。
・みんなで協力して全員で乗ることができてよかった。



資料１　協力について振り返った児童の感想

【個人について】

Ａ：最初はうまくいきませんでした。でも、挑戦するのが楽しかったです。
Ｂ:(グループでは)最初できなかったけど、2回目は後少しというところまでいったので嬉しかった。全員だと倍以上におもしろかった。
Ｃ：　みんなで協力できたので、よかった。みんながいたから楽しむことができた。
Ｄ：(グループでは)２回目の挑戦で９秒で落ちたけど、すごく楽しかった。(全員では)最後にみんなで出来たので嬉しかった。

○　実践を振り返って

【集団について】

・全グループが成功して、協力することやチームワークの大切さを感じることができた。
・初めは男女間で少し恥ずかしそうに練習していたグループも、他のグループが成功する姿を見て、作戦を考えたり、体を密着させたりして取り組むことができた。
・学級全員が１枚のマットに乗る挑戦では、教師主導で行ったため、グループでの取組に比べると、全員で成功させたという一体感や達成感を感じることができなかったように思う。
・学年の発達段階や学級の人間関係を考慮して取り組んだ方がよいと感じた。体を密着させるエクサ

サイズは中学年のこの時期までだと考える。また、学級の人間関係が希薄な状態では、グルーピングや人数に配慮する必要がある。

・跳び箱に乗る人数によって難易度が変わるので、成功体験を味わうことをねらいつつも、成功までの努力や工夫が必要となる適当な人数を考えなければならない。

【個人について】

Ａ：他の児童の作戦に合わせて一緒になって楽しく取り組んだ。

Ｂ：Ｃとは別グループでリーダーシップを発揮していた。

Ｃ：負けず嫌いな性格のため夢中になって取り組んだ。他の児童と作戦を主張し合うこともなく、いろいろな方法で練習していた。

Ｄ：自分から積極的に取り組むことはなかったが、他の児童の作戦に合わせて一緒になって取り組んだ。振り返りシートから楽しんで活動に参加したことが分かる。